

## 京都大学の知にふれる 公開講座春秋講義 令和4年度秋季講義

対立や争いの絶えない現代社会。新型コロナウイルス感染症という災害に見舞われ、行動様式をめぐる倫理観の対立が生じ、社会格差や分断が一層広がっています。根本では分かり合えないと思える他者とは、本当に相互理解できるのでしょうか。哲学者の思想に触れながら分断の時代を見つめ直してみましよう。

**125th** ANNI<sup>VERSARY</sup> KYOTO UNIVERSITY 京都大学創立125周年記念

【主催】京都大学 【後援】京都府、京都市

# 分断の時代

哲学者からのヒント



令和4年  
**12月9日(金)**  
18:30~20:00 (開場18:00)



### 他者を知ること

文学研究科 教授  
**上原 麻有子** (うえはら まゆこ)

他者との関係構築は難しい。他者を知るには、自分との関係を真剣に育てなければなりません。喧嘩や対立があっても仕方がない、それを乗り越えてこそ相互理解が深まると言えそうです。この乗り越えを重視していた京都学派の哲学者の自我関係論を紹介します。

令和4年  
**12月14日(水)**  
18:30~20:00 (開場18:00)



### 災害の倫理

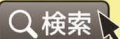
文学研究科 教授  
**児玉 聡** (こだま さとし)

近年、世界は新型コロナウイルス感染症の流行という大きな災害に巻き込まれ、様々な倫理的問題に直面してきました。個人の自由の制限、呼吸器やワクチンの配分、緊急事態における正義など、災害の中で浮かび上がってきた、倫理的諸問題について考えます。

**会場** 京都大学国際科学イノベーション棟5階  
シンポジウムホール (京都府京都市左京区吉田本町)

**申込方法** 京都大学ホームページよりお申込みください

京都大学春秋講義



※オンデマンド配信のご視聴は申込不要です。

**問合せ先** 京都大学総務部渉外課  
電話 **075-753-2606**  
メール event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

**定員**  
各講義200名(先着順)

**申込期間**  
各講義1週間前まで

京大 YouTube

後日 YouTubeにて  
オンデマンド配信あり



参加費  
**無料**

#### 注意書き

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、中止や内容を変更しての開催となる場合があります。
- ・お預かりした個人情報は、本イベントの開催にかかる企画以外の目的では一切使用しません。
- ・開始後30分以上経過してからのご入場はお断りする場合がございます。